

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2001-315870(P2001-315870A)

【公開日】平成13年11月13日(2001.11.13)

【出願番号】特願2000-133155(P2000-133155)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/14 (2006.01)

B 0 5 B 9/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 F

B 0 5 B 9/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月19日(2007.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

例えば、特開平9-132282号公報記載の発明では、エアゾール容器から突出する押圧ボールを頭部に押し付ける事により、ステムを押し下げてバルブ機構を開放する。このバルブ機構の開放により、押圧ボールの外周に頭部と一定の距離を介して配置した噴射ノズルから、エアゾール内容物を頭部に噴射して、頭皮や頭髪にエアゾール内容物を噴霧しようとするものであった。更に、押圧ボールを頭部に押し付けたまま回転する事により、頭部に付着したエアゾール内容物を、押圧ボールの表面にて頭皮や頭髪のより広い範囲に展開させたり、マッサージ効果を得ようとするものであった。